

令和元年 7 月 8 日

保護者 各位

鹿児島大学教育学部附属中学校
校長 山口 武志

「県民の日」記念式典参加について（お知らせ）

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清祥のことと拝察いたします。さて、今年度より制定されました「県民の日」に際しまして記念式典が開催されます。つきましては、下記内容にて本校生徒も参加しますので、御理解と御協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

記

- 1 日 時 令和元年 7 月 14 日（日）
8:40 鴨池ドームグラウンド集合
(雨天時は鴨池ドーム内集合)
9:20～12:00 記念式典
12:15 頃 県総合体育センター体育館にて解散
- 2 会 場 県総合体育センター体育館
鹿児島市下荒田 4 丁目 47-1
- 3 コンセプト（鹿児島県文化スポーツ局文化振興課より）
県民に受け継がれた「進取の気風」を継承するとともに、子どもたちが次の時代の鹿児島を創造する担い手となるよう誘う。
- 4 お 願 い
 - (1) 生徒が集合する際は、市電や J R、バス等の公共交通機関を利用させてください。朝の時間帯は、記念式典等による混雑が予想されますので、交通マナーには十分に御注意ください。
 - (2) 生徒の持ち物は、補助バッグ、水筒（水または茶とする。ペットボトルは不可）、交通費（必要な生徒）です。授業の一環ですので、携帯電話・スマホ、カメラ、腕時計、お菓子、その他不必要な物は持たせないようにしてください。
 - (3) 生徒が欠席や遅刻をする場合は、教頭室（285-7931）へ御連絡ください。

「県民の日」記念式典 演出内容(案)

1 日時 令和元年7月14日(日)9:20~12:00

R1.6.28 文化振興課

2 会場 県総合体育センター体育館

3 コンセプト 県民に受け継がれた「進取の気風」を継承するとともに、子どもたちが次の時代の鹿児島を創造する担い手となるよう誘(いざな)う

時間	構成	知事	出演者・映像
9:20	プロローグ (10分) ・鹿児島の誇るべき歴史、文化、自然、産業等や、これから始まる式典の趣旨を来場者にアピール ・「鹿児島の今」と「これからの鹿児島」の紹介	控え室から舞台袖に移動	若者2人を主人公としたプロローグ映像(ふるさと鹿児島の魅力を探す旅のはじまり) 若者2人がナビゲーターでPR映像のフリ 鹿児島県PR映像
9:30	【第1部】記念式典 (60分) (司会者登壇)		中村朋美フリーアナウンサー
(9:30)	主催者・来賓登壇 開式のことば ・記念式典のスタートを声高らかに宣言、ファンファーレ	舞台袖からステージ登壇	知事, 来賓 中村かおり副知事
(9:30)	県旗入場(5分) ・県旗を掲げたマーチング・カラーガード隊を参加者全員でお迎えすることで県民の日を意識付け	ステージ登壇中	神村学園高等部吹奏楽部
9:35	主催者挨拶(5分) ・県民の日及び記念式典開催の意義を県民にアピール	主催者挨拶	知事
9:40	来賓挨拶(15分) ・県議会や市町村も一緒に県民の日を祝う	ステージ登壇中	県議会議長, 市町村長代表, 国会議員等
9:55	子どもたちなどによる「鹿児島に対する想い」の発表(25分) ・鹿児島の歴史、文化を振り返り、新たな元号「令和」のスタートも踏まえ、未来に向けた想いを発表	ステージから記念式典の自席へ	小中高生(7人:鹿児島, 南薩, 北薩, 始良伊佐, 大隅, 熊毛, 大島) 発表者の想いに関する映像を上映
10:20	名誉県民表彰(10分) ・常に進取の気性に富み、郷土への熱い想いを持ち続ける被表彰者のこれまでの功績に触れることで、「進取」の心を持つ「鹿児島県民」であることへの誇りを共有	自席からステージ登壇	(秘書課において調整中)
10:30	鹿児島県民の歌(5分) ・はじめての「県民の日」記念式典が開催できた喜びを歌に込める	ステージから記念式典の自席へ	NHK鹿児島児童合唱団等 総勢100人程度 想い発表の小中高生(7人)
10:35	閉式のことば(5分) ・記念式典の終わりを宣言		文化芸術に係る学識経験者の代表 本田勝彦氏
10:40	(休憩10分)		
10:50	【第2部】記念フェスティバル (67分) ・小中高生一人一人が自分にとっての次の時代の鹿児島に必要なことを考える 	式典の自席	・ プロローグから続く物語形式で進行 ・ 著名人(赤崎勇氏, 若田光一氏, 加藤久仁生氏, 大迫勇也氏, 田中達也氏)からのメッセージ上映(松本圭使氏ピアノの演奏) ・ アーティストと地元合唱団により、島唄等、鹿児島にちなんだ曲を披露し、多様な場面を展開 ・ 幻想的なステージ「 行きゆんな加那 」城南海氏 ・ アップテンポな楽しいステージ「 太陽がほほえむ街 」和田明氏 ・ 暖やかなステージ「 パプリカ 」西田あい氏, 松本圭使トリオ ・ 「ビッグバンドメドレー」リトルチェリーズ ・ 会場が暗転し、プロローグで登場した若者2人がふるさと鹿児島の魅力を探す映像を上映 ・ 映像を上映しながら、郷愁を誘う曲を披露 ・ 郷愁のイメージを展開「 HOME 」坪田俊一, 松本圭使トリオ ・ 一転して、現代風にアレンジした棒踊りを披露 ・ 荒々しいイメージを展開「 真潮(ましお)の道 」に合わせた踊り ・ 若者2人が旅で撮影した鹿児島の風景、人々の表情などの映像の上映と、明るい未来を連想させる曲を披露 ・ 未来へ進むイメージを展開「 夢待ち列車 」城南海&西田あい ・ 来場者に「県民の日」の趣旨を再確認してもらう場面展開 ・ 若者2人が登場し、鹿児島の魅力を再認識したという演技を展開 ・ これからはじまる鹿児島の未来への期待感を醸成 ・ 出演者全員による合唱「 STORY 」(間奏に、著名人からの一言メッセージ)
11:57	フィナーレ (3分) ・これからはじまる鹿児島の未来に向けてのメッセージを力強く宣言する	自席からステージ登壇	合唱の最後に若者2人が知事をエスコート 知事の発声でフィナーレ
12:00	終了		